

会 議 録

会議の名称	令和 2 年度 第 3 回社会教育委員会議
開催日時	令和 3 年 3 月 2 2 日 ( 月 ) 午後 1 時 3 0 分 ~ 午後 3 時
開催場所	所沢市役所 6 階 6 0 4 会議室
出席者の氏名	別紙のとおり
欠席者の氏名	別紙のとおり
説明者の職・氏名	
議 事	( 1 ) 社会教育関係団体の補助金について ( 2 ) 郷土資料の保存・活用について ( 3 ) その他
会 議 資 料	資料 1 : 令和 3 年度社会教育関係団体 ( 補助金交付団体 ) 一覧 資料 2 - 1 : 郷土資料等収蔵施設整備の検討 資料 2 - 2 : 郷土資料等保存対策プロジェクト研究報告書 報告事項資料 : 文化財保護課と生涯学習推進センターふるさと研究グループの統合
担 当 部 課 名	教育長 大岩 幹夫、教育総務部長 千葉 裕之、文化財保護担当参事兼文化財保護課長事務取扱 肥沼 位昌、生涯学習推進センター所長 酒井忠夫、スポーツ振興課長 廣谷 貴紀  教育総務部社会教育課 社会教育課長 稲田 里織、主査 金田 俊一、主任 高橋 幸大、主任 竹迫 祐亮  教育総務部社会教育課 電話 0 4 ( 2 9 9 8 ) 9 2 4 2

# 所沢市社会教育委員会議出欠一覧

令和3年3月22日(月)午後1時30分から 市役所604会議室

選出根拠	氏名	備考	出欠席
学校教育関係者	石井 伸明 <small>いしい のぶあき</small>	所沢市立小中学校校長会 (美原小学校校長)	出
学校教育関係者	石嶺 雄大 <small>いしみね ゆうだい</small>	所沢市幼児教育振興協議会 (美原幼稚園 園長)	出
社会教育関係者	加藤 市男 <small>かとう いちお</small>	所沢市公民館運営審議会 民生・児童委員	出
社会教育関係者	難波 裕之 <small>なんば ひろゆき</small>	所沢こどもルネサンス実行委員会	出
社会教育関係者	竹内 聡子 <small>たけうち さとこ</small>	所沢市スカウト協議会 (ガールスカウト埼玉県第36団)	出
社会教育・家庭教育関係者	針生 清美 <small>はりゆう きよみ</small>	柳瀬小学校図書ボランティア代表 柳瀬公民館保育スタッフ 柳瀬荘黄林閣(国重要文化財)管理人	出
社会教育関係者	小沢 貞泰 <small>おざわ さだやす</small>	(元)北秋津小学校区 心豊かな子どもを育てる学校と地域づくり連絡会議 北秋津ネット 議長	出
社会教育関係者	小松 扶美子 <small>こまつ ふみこ</small>	所沢市連合婦人会 会長	出
社会教育・家庭教育関係者	藤巻 裕 <small>ふしまき ゆう</small>	所沢市PTA連合会 会長	欠
社会教育・家庭教育関係者	小林 ヒデ子 <small>こばやし ひでこ</small>	民生・児童委員 人権擁護委員	出
社会教育関係者	須藤 とく子 <small>すどう とくこ</small>	人権擁護委員 (元市内小学校長)	出
学識経験者	伊藤 明芳 <small>いとう あきよし</small>	秋草学園短期大学 地域保育学科准教授	出
学識経験者	扇原 淳 <small>おおぎはら あつし</small>	早稲田大学人間科学学術院 教授	出
学識経験者	田部 真一 <small>たなべ しんいち</small>	元市内小学校長	出
学識経験者	林 宏一 <small>はやし こういち</small>	所沢市文化財保護委員会委員長 さいたま市岩槻人形博物館館長	出

選出根拠 = 所沢市社会教育委員会条例第2条

令和2年9月1日現在

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
教育長	<p>【 1 開会】</p> <p>【 2 あいさつ】</p> <p>新型コロナウイルスの影響で延期としていた「成人のつどい」を 3 月 20 日の土曜日に、市内 11 会場で実施した。桜が少し咲いていて、今までにない成人式で思い出に残るようなものとなった。</p>
議長	<p>【 3 1 議事】</p> <p>（ 1 ）社会教育関係団体の補助金について</p> <p>では、議事 1 社会教育関係団体の補助金について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
社会教育課	<p>所沢市教育委員会では、各社会教育関係団体の補助金交付要綱に基づき、青少年教育・成人教育など、社会教育への貢献が期待できる社会教育関係団体に対して補助金を交付し、活動を支援している。来年度も社会教育推進のため、市民と協働して、社会教育の振興に努めてまいりたいと考えている。</p> <p>社会教育法第 1 3 条の「社会教育関係団体に対し補助金を交付する場合には、社会教育委員会議の意見を聴いて行わなければならない」という定めに基づき、来年度の補助金に関して、各団体に交付する前に審議をお願いしたい。</p> <p>来年度の社会教育関係団体に対する補助金については、所沢市 P T A 連合会から生涯学習をすすめる市民会議まで 1 1 団体で、各団体への来年度の補助金については、予算案のみを示している。</p> <p>なお、社会体育に対する補助金については、スポーツ基本法の規定により、スポーツ推進審議会において審議することとなっており、除外させていただいている。</p>
議長	<p>各団体からは何か要望はあったか。</p>
社会教育課長	<p>要望等はなく、例年通りの予算案としている。なお、所沢市では、補助金等の予算額を増額する場合には、補助金等審査委員会の審査が必要になる。</p>
委員	<p>「所沢こどもルネサンス」について、新型コロナウイルスの影響でほとんど活動できなかった。「文学のひろば」と「まんがイラストコンクール」は作品を募集して実施したが、受賞者を対象とした表彰式は中止とした。その代わりにホームページで受賞者の作品を掲載する予定である。</p>

	<p>事業の1つである「トコトコタウン」は、例年2日間で延べ1,000人を超える子供達が参加する事業であるが、今年はZOOMを利用したオンライン講座を企画している。先日から「記者になってネットニュースを作ろう」という講座を実施しており、5人の子供達が参加している。最初はオンラインでうまく実施できるか不安であったが、無事に実施できている。3月30日には、「エコエネルギーを知ろう」という講座を、上下水道局や環境政策課、所沢市民ソーラーに協力してもらい実施する予定である。</p> <p>このようなオンライン講座を実施する上で、公民館施設全体でWifiを活用できるようになるとありがたいと思う。また、来年度から市立小中学校に通う児童生徒に学習用に貸与されるタブレットPCは学校での活動以外には使用できないと聞いている。そうすると恐らく私達の活動には活用できないとは思いますが、何か活用できるような良い方法はないかと思っている。</p>
議長	<p>新型コロナウイルス禍でも様々な工夫をされて活動をしていると感じた。また利用上の課題も話してもらったと思うので、事務局で検討いただきたい。</p> <p>他に意見がなければ承認するというところでよろしいか。</p> <p>《一同了承》</p>
議長	<p><b>(2) 郷土資料の保存・活用について</b></p> <p>議事2 郷土資料の保存・活用について、事務局より説明をお願いしたい。</p>
文化財保護担当 参事	<p>収蔵施設整備については、「所沢市総合計画」で郷土資料を保存する施設の整備について検討することが必要であると位置づけられている。今後の展開として社会教育委員会議の提言や庁内検討調整会議の成果を踏まえて(仮称)郷土資料等収蔵施設計画に取り組んでいきたいと考えている。この計画は郷土資料等収蔵施設を整備するための計画であり、外部委員に検討をしてもらう予定である。整備の必要性については、資料2-1の1ページ目の「3. 収蔵施設整備計画策定と整備の必要性」のとおりであり、本会議からのご意見なども踏まえて、具体案を作っていきたいと考えている。</p> <p>なお、前回の会議で質問のあった「郷土資料」については、一般的に郷土(所沢)に関する資料を示すものであり、郷土資料のうち歴史的文化的価値が高いものを市では保存している。資料2-2 郷土資料等保存対策プロジェクトの資料の3ページ以降に所沢市の郷土資料が写真と共に掲載されている。</p> <p>資料2-1の2ページ目に、郷土資料をめぐる課題を9つ挙げている。例えば、職員の体制や収集の基準、保存環境、収蔵スペースの不足、所沢市外への資料散逸が挙げられている。7番の未整備の郷土資料やデータの一元管理という課題については、4月以降に生涯学習推進センターと文化財保護課が組織統</p>

	<p>合するので一元管理が進むものと考えている。他に、総合的な学びの場が無いということも課題である。</p> <p>資料2 - 1の3ページは庁内のワーキンググループで出た意見を掲載している。4ページには意見のポイントとして「郷土資料保管の必要性について、積極的な反対はありませんでした」と消極的な書き方をしているが、収蔵施設整備について大きな反対はなく、収蔵施設を整備する方向で進んで行くと期待している。</p> <p>5ページには令和2年度版所沢市市民意識調査の文化財・歴史に関する個別アンケート結果を挙げている。「知っている郷土の文化財・歴史に係る事項」については、文化財保護課として市民に当然知っておいてほしい言葉を集めたが、アンケート結果のように非常に理解が少ないと考えられ、市民の意識を深めていきたいと考えている。自由意見からは、博物館などを望む市民の声が増えつつあると感じる。</p> <p>7ページは、郷土資料を保存活用する意義を記載している。郷土資料の収蔵施設を設け保存していくとともに、市民共有の財産として活用することが望まれている。郷土資料の保存・活用の必要性としては、郷土資料を将来世代に引き継ぐこと、郷土を理解する場、郷土愛やシビックプライドの醸成、まちづくりにおける地域個性形成の基礎ともなり、観光面の集客にもつながると考えている。</p> <p>民俗資料館については、以前にも中富民俗資料館を見学していただいたが、メリットデメリットがあり、収蔵施設を検討する中で考えていきたい。</p> <p>前回抽象的な内容でイメージがわからなかったが、資料2 - 1に今の説明が集約されていると思う。1ページ目「3 収蔵施設整備計画策定と整備の必要性」を端的にまとめると、「1．後世に伝える、総合的に管理する」、「2．資料の活用を図る」、「3．まちづくりに貢献する」、「4．民俗資料館の老朽化に対応する」となり、この部分に必要性が集約されていると考えている。また、今回の会議資料をみることで、郷土資料が何を指すか意味が分かってきたように思う。</p> <p>社会教育委員会議でなぜ議論するかという点については、収蔵施設が社会教育施設であることから、収蔵施設の構想を作っていく上で社会教育委員の視点を得たいということであると考えている。事務局から何かあるか。</p> <p>社会教育課長</p> <p>今期テーマは、収蔵施設を整備ではなく「郷土資料の保存・活用」としている。文化財保護課では、郷土資料の散逸を防ぐためにも資料の保存が必要であり、収蔵施設整備を検討しているところだが、資料を保存するだけでなく、活用をするという視点が大切と考えている。議長ご発言のとおり、検討を進め</p>
--	---

	<p>ている収蔵施設は社会教育施設でもある。資料の保存に適した施設はどのようなものなのかという視点での議論は、文化財保護の専門的視点で検討を進めると思うが、この社会教育委員会では、地域で様々な活動をされている実践者の方が多く委員となっていることから、郷土資料を市民の学習に活かすためにはどのような施設が望まれるか視点での議論をお願いしたいと考えている。</p>
議長	<p>前回の会議で、委員から収蔵施設計画を早くしなければいけないという意見があったが、その点について背景等を含め意見をいただきたい。</p>
委員	<p>所沢市が現在の状況になるまでには長い歴史がある。現在、様々な住民が所沢市で生活しているが、生活が都市や経済に向いてしまっていて、これまで培われてきた所沢の歴史文化遺産が意外とないがしろにされている印象を強く感じるとともに、傷ましい姿となっていることも実感する。教育委員会の文化財担当が様々な形で歴史文化遺産の保護に努力してきたと思うが、努力にかなわない速度で、所沢の現代化、都市化が進んでしまっている。以前は所沢にも大正昭和の街並みが残っていたが、今はほとんどその景観は残っていない。所沢は埼玉県西部の大都市の1つであり、新しい住民がどれだけ所沢のことを自分の知識として承知しているか心許ない。</p> <p>私が委員をしている文化財保護審議会では、所沢市にある様々な郷土資料を管理し、それをわかりやすく市民の方に説明する施設、いわゆる博物館施設が必要であると意見していた。社会教育委員会では、社会教育法に基づいて設置されていて、市を代表する有識者が委員をしている。また、社会教育法には博物館に関する規定もある。このような会議で郷土資料等収蔵施設、博物館施設設置について意見を集約してもらいたい。</p> <p>所沢には、小野家住宅やトトロの森もあり、市民の一部では所沢の歴史、自然、景観を残そうという動きもあるし、所沢市が県西部の大都市として続いていくためには、所沢に住む方が所沢の郷土愛、愛着心を持つ必要がある。</p> <p>市の内部検討委員会では、未だに財政的に厳しいという声がある。しかし、このような施設は、地域と文化の遺産が次の世代につながっていくものであり、収益性ということだけでは片付けられない。所沢市として何を次の世代に残すかを考え、しかるべき施設で、きちんとした形で歴史を継承し保存し活用してもらいたい。</p> <p>角川武蔵野ミュージアムがあると一部の意見があるが、これは企業が作った施設である。この施設とは異なる、市民の物として将来にわたって継承されていく施設と組織が必要であり、博物館施設を所沢でも大切にしていってほしいという方向で意見を集約していただきたい。</p>

議長	<p>博物館という言葉が出てくると、曖昧模糊とした状態が解消されると思う。博物館を作るとなると委員もわかりやすいと思う。昨年の11月に刊行された「ところざわ歴史物語」の市長の刊行のことに、「第6次所沢市総合計画がスタートし、基本構想では目指す将来都市像として、絆、自然、文化、元気あふれる『よきふるさと所沢』を掲げ、文化や伝統を守り次代に継承していくことをうたっています。」とある。文化財の集約にもつながっていくと感じている。委員の「収蔵施設計画を早くしなければいけない」という意見は、必要性があるから早く施設を作ってもらいたいという意見だと思う。中身の議論は社会教育委員ではできないと思うので、博物館の必要性を頭に入れながら、今後の議論を進めていきたい。</p> <p>前回の会議のときに、委員から市民意識について意見が出たが、再度意見をいただきたい。</p>
委員	<p>前回の会議では、「市民がこのまちをよくしたいという機運が高まると、その歴史について知りたがる」という新聞記事を紹介した。市民がこのように考えた時に、現在、将来にわたり、拠り所になるものがないといけないのではないかと発言したと思う。</p>
議長	<p>資料の中に、シビックプライドの醸成とあるが、事務局より簡単に説明いただきたい。</p>
文化財保護担当 参事	<p>シビックプライドは郷土愛、市民としてのプライドのことと認識している。これを醸成していく上で地域の文化や歴史を理解することが大事だと考えている。</p>
議長	<p>今の2人の発言を踏まえると、博物館のような施設を作る上で、市民が参加しやすいように関心を高める必要があるのではないかと思う。社会教育という視点で各委員から意見はあるか。</p>
委員	<p>所沢市が特に目玉としてPRしたいものを考えたほうが良いと考える。それが、観光や健康づくりにもつながっていき、別の観点から財政措置が確保できるようになるのではないかと考える。</p> <p>私は先日入間市の博物館アリットに行った。渋沢栄一が黒須銀行の設立に関わっているとの新聞記事を見て、入間市の友人に情報を確認して見学に行った。市民も関心のあるものは見に行くと思うので、施設を作る際には市民に関心を持ってもらえるように働きかけて、継続してPRしていく必要があると考える。例えば、岩槻といえば人形が有名であり、人形を知りたいと思えば岩槻に行く</p>

議長	<p>と思う。また、川越は蔵づくりの町で有名であるが、当時に似せて景観を作っていると聞いたことがある。施設を作る際には、そのような仕掛けも必要と考える。</p> <p>今の意見は所沢市として何が重要なものかを決める必要があるという意見と考える。</p>
委員	<p>目玉を作って施設を検討したほうがよいという意見があったが、目玉は博物館施設を作る側の専門的な知識を持った人が作り上げるものであり、これまで蓄積してきた様々な文化遺産の調査を通じて、目玉は提案できると考えている。そのベースとなるものが郷土資料である。</p> <p>資料にある市民アンケートでは、「アンリファルマン機」「滝の城」「小野家住宅」「ミヤコタナゴ」が知られているとある。アンリファルマン機は航空発祥記念館で知ることが出来るが、それ以外のものは博物館施設がないと市民の方に詳しい情報を提供できないのではないかと。本日、事務局から配布された「ふるさと所沢早わかり本」はとてもよくまとまっていて、江戸から近代まで今の所沢のベースを作り上げた時代のものが掲載されているが、限られた範囲にしか配布されていないようである。所沢の文化財、歴史を理解してもらうためにも、知識を蓄積し研究し提供できる場としても博物館施設が必要であると思う。博物館施設ができれば、様々な形で市民の方々や市民以外にも所沢の魅力が伝えられると思う。</p>
議長	<p>どういう施設を作るのかは専門的な方が検討していくと考えているが、先ほどの意見等を踏まえて検討していくと考えている。</p>
委員	<p>先日、十日町市博物館に国宝である火炎型土器を見に行った。その博物館は2020年6月に完成したが、全く人がいなかった。能登国分寺にも行ったが、全く人がいなかった。博物館を作る上では、人が利用するという考えなければならない。箱物はできたが来る人がいないという状況では残念である。3年前にできた「のと里山里海ミュージアム」には、たくさんの方がいた。見学すると説明ばかりで疲れてしまう施設もあるが、この施設はただ展示しているだけでなく、中が魅力的でとても工夫されている。</p> <p>これからの時代に所沢をアピールしていくには何が必要で何をテーマにするのか醸成していかないと、市民の方は1回行けばもう行かないという方もいると思う。シビックプライド、市民の当事者意識をどうやって作っていくのかというと、色々な段取りがあり、1つ1つ時間をかけていかなければならないと思う。アイディアの1つとして、中富民俗資料館にある資料を市役所のロビー</p>



議長	<p>で展示したらどうかと思う。実際に資料を見せることで、市民の方に収蔵施設、博物館の必要性を訴えていくことができると思う。</p> <p>また、私は博物館に行くときにグッズを見ることも楽しみの1つとなっている。市の文化財グッズを作る等の工夫も市民意識を醸成するうえで必要なことと思う。子供は博物館があれば勉強で来ると思うが、一般市民はなかなか来ない。魅力ある所沢、誇りに持てる所沢を見つけるような施設とするように意図していかないといけないと思う。</p> <p>活用できるものは活用していかなければならないし、どのような人たちを対象として構想を作るかも検討していかなければならないということと思う。</p>
委員	<p>早くしなければならぬという意見を別の視点で補足したい。郷土資料を昭和、大正、明治、その前の時代に使われていたものとしてイメージしてみると、今が、展示されている郷土資料を実際に使っていた方たちがいる最後の世代と考える。あと10年待ってから施設を作っていくと、展示してある資料の使い方が、わからなくなってしまう。今何をしなければならぬかという、資料を使える人が実際に使っているところをビデオに残すことだと考える。子供達や私たち世代が年齢を重ねて実際に使ってみるとなった時に、使い方を知る術が重要であると思う。そのようなソフトウェアが素地としてあることで、博物館や人が来るような活用方法が生まれ出せると考えている。展示や貴重な物を見せるだけでなく、次のステップとして活用を考えなければならない。</p>
委員	<p>小学校3年生では昔の道具を体験する授業がある。川越や入間では3年生を博物館に連れて行き、石臼体験やたらいでの洗濯体験等教科書に掲載されていることを体験させている。所沢でもそのような学校と博物館の連携が出来ればと思っていた。博学連携に加え、ボランティアの活用も大事であると考えていて、地域のボランティアを活用していくことで地域コミュニティが博物館を核に広がると思う。保護者の方が来るイベントを実施して、徐々に博物館の活用を大人にも広げていくこともできると思う。</p>
委員	<p>先ほどビデオの活用という意見があったが、私は数年前に御幸町の山車人形の撮影してほしいと依頼があり撮影をしたことがある。御幸町の山車は5年に1回市指定文化財の山車人形を立てるが、その当時は5年前が雨で中止となり10年ぶりに人形を立てるが、10年前を知っている人が1人しかいないということで文化財保護課から撮影依頼があった。ビデオには映像も音声も残るので、ビデオに残せるものがあれば残していく必要があると思う。</p>

委員	<p>博物館は箱物と併せて中の機能のことであるので、資料2 - 1の1ページの郷土資料等収蔵施設整備計画を策定する際には、先ほど委員が言ったことを踏まえて検討していくのがセオリーと考える。立派な物を作っても人が来ない施設もあるので、運営も含めて市民の方々が足を運ぶ施設を検討していく必要がある。</p>
議長	<p>過去と現在と将来に向かっていく機能を考えてもらいたい。また、構想から活用まで市民をどのように巻き込んでいくかという視点が大事であると考え</p> <p>る。</p> <p><b>(3) その他</b></p> <p>「所沢市成人のつどい」について 委員及び社会教育課より報告した。</p> <p>(委員報告)</p> <p>3月20日の成人式に娘が出席した。成人式を中止する自治体やパネルで対応する自治体がある中、桜の木の下での成人式ということも有りがたく思う。例年と違う事をしたので、社会教育課や各地区の実行委員も大変だったと思う。本当にありがたく思う。</p> <p>(社会教育課長から第74回「所沢市成人のつどい」の出席率等を報告した)</p> <p>文化財保護課と生涯学習推進センターふるさと研究グループの統合生涯学習推進センターより報告事項資料に基づいて、説明した。</p> <p><b>【4 その他】事務連絡</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護課から 各課諸連絡資料(新規事業概要調書)に基づき「歴史的建造物整備活用事業」について説明があった。</li> <li>・社会教育課から 各課諸連絡資料に基づき、「緊急事態宣言の解除に伴う社会教育施設の対応」について説明があった。</li> </ul> <p><b>【5 閉会】</b></p> <p>《議長のあいさつ後、閉会となる。》</p> <p style="text-align: right;">《以上で終了》</p>